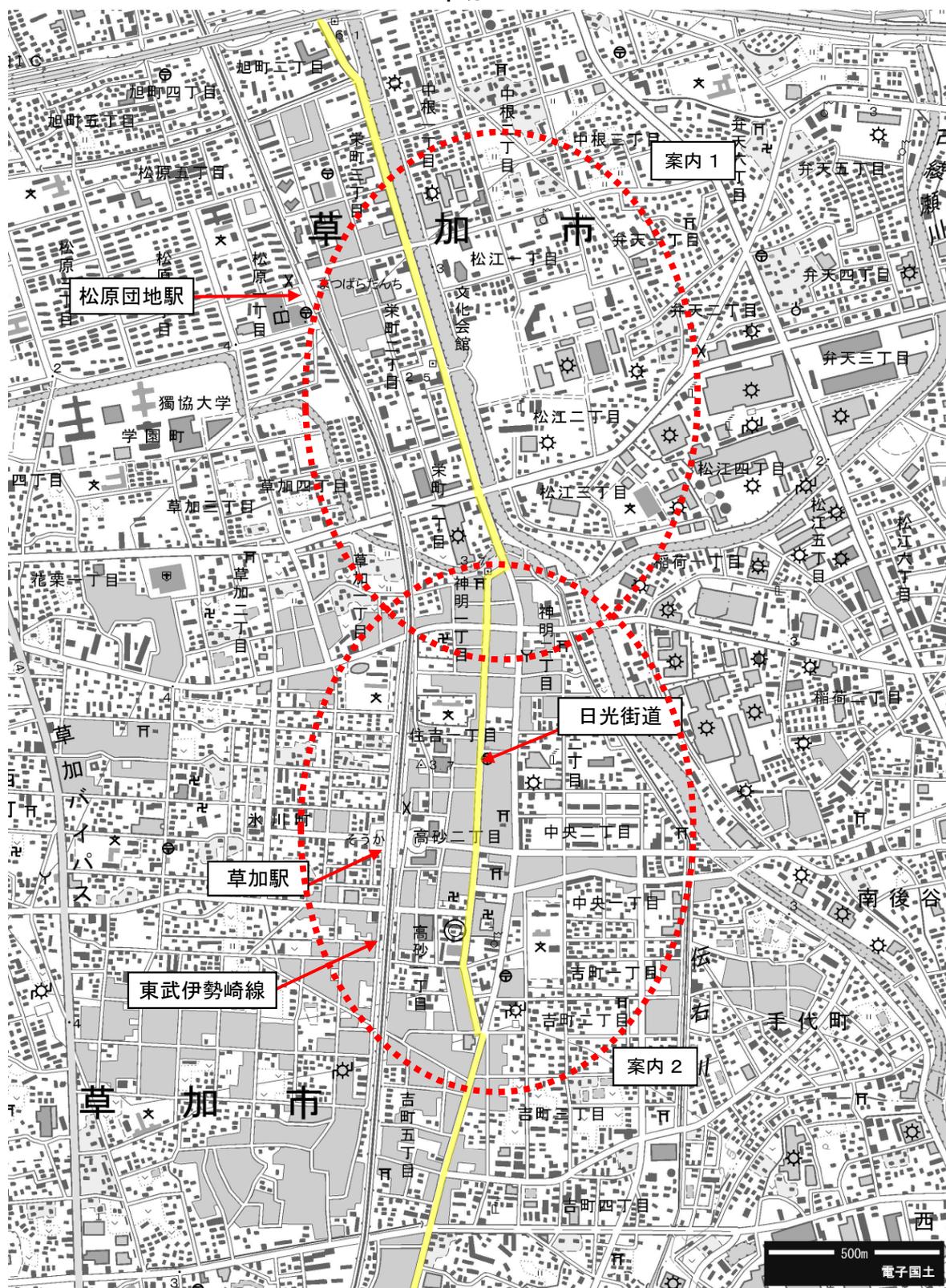


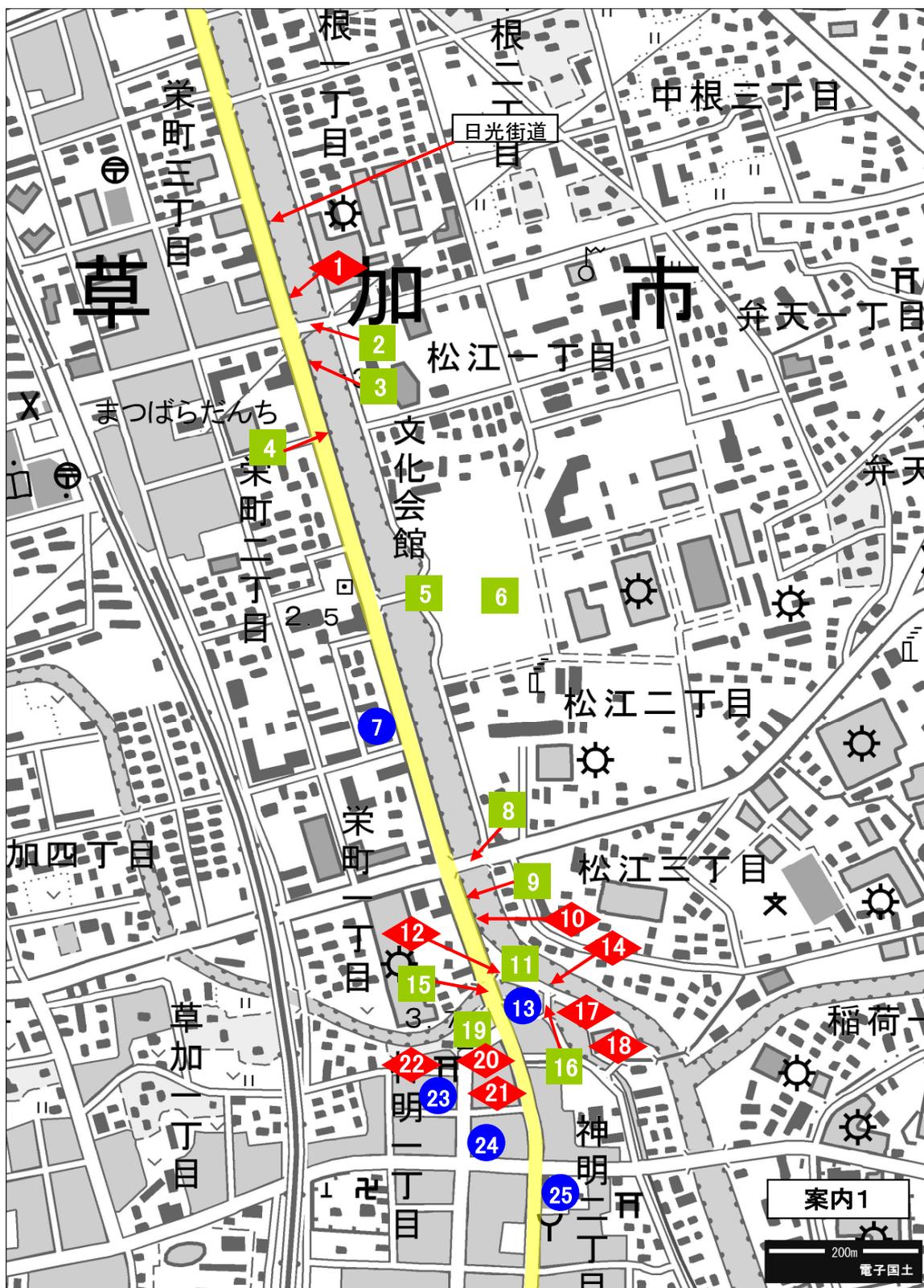
草加



案内図

 調査範囲

草加



凡例



史跡・寺社等

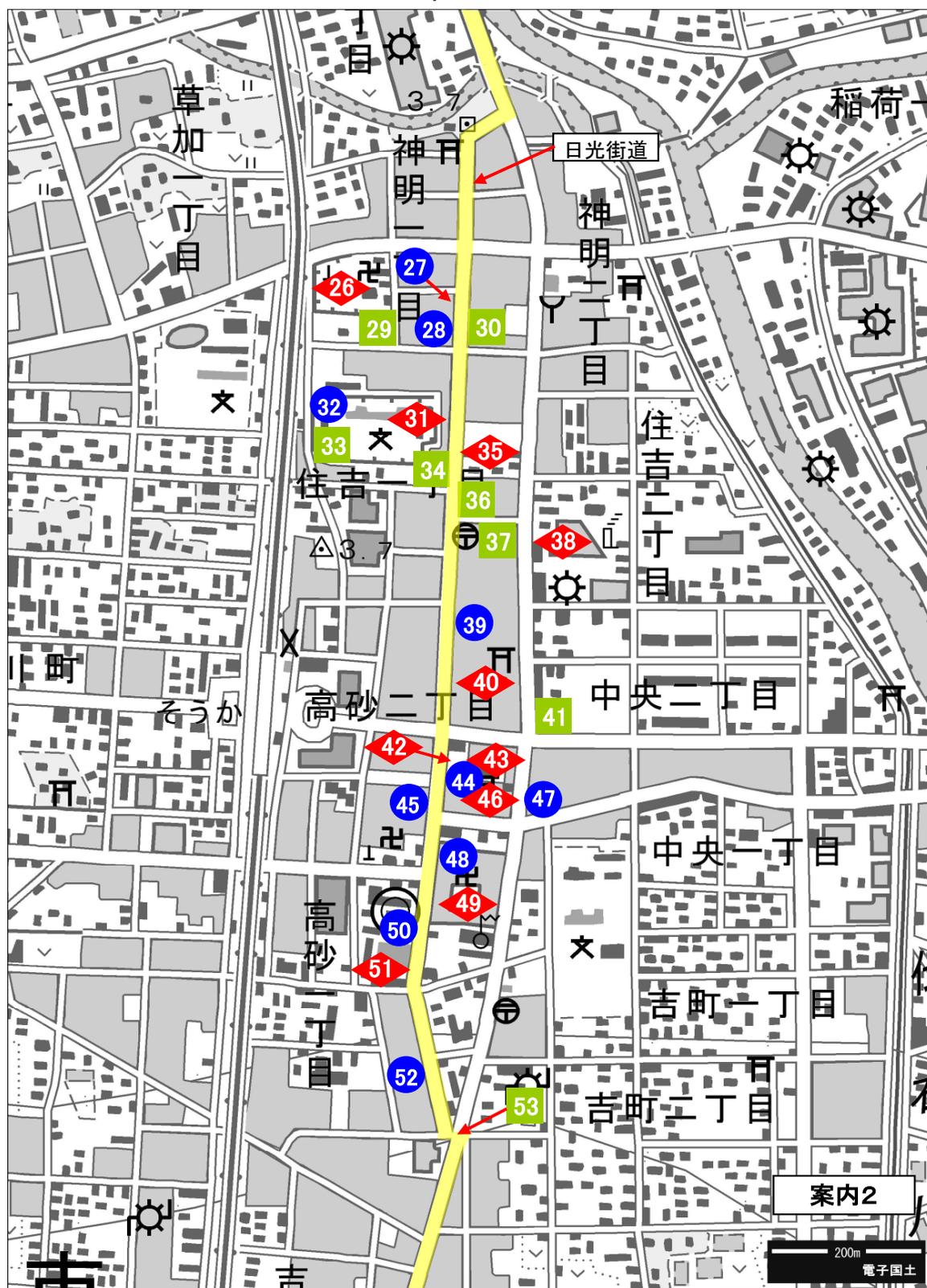


その他の建造物



通り・広場・樹木他

草加



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

草加



草加宿は、日光街道中の千住・越谷の中間駅として開設された宿場である。千住・越谷間は標高が低く沼地が多かった。江戸初期に地元の大川図書により埋立が行われ、千住-越谷間が直線で結ばれた。街道沿いにはかつての豪商や大川図書を祀る東福寺などの寺院が点在する。

(写真は百代橋)

<p>1 松尾芭蕉の文学碑</p>	<p>2 百代橋</p>	<p>3 松並木</p>
<p>百代橋のたもとにある芭蕉の文学碑。草加の街道筋には、芭蕉に関連する碑、像などが幾つか散見できる。</p>	<p>橋の名称は「奥の細道」の冒頭の「月日は百代の過客にして行かう年も又旅人なり」に由来する。江戸時代の太鼓橋型に造られたRC造の歩道橋で往事の趣きある歩道橋。</p>	<p>綾瀬川西岸に約1.5km続く、くねった石畳の遊歩道との景観が美しい。冬仕度の松のこも被りも風情がある。</p>
<p>4 松並木の石垣</p>	<p>5 ハープ橋</p>	<p>6 綾瀬川左岸広場</p>
<p>松並木の県道側の土手が石積みされ並木とともに風情を醸し出している。</p>	<p>欄干にハープ(楽器)の小さい鑄物があしらわれた人道橋で松並木と綾瀬川左岸広場を結ぶ。</p>	<p>川の畔に開放的な空間が広がりゆったりした気分になる。周囲の植栽の紅葉も松並木の濃い緑に相対し綺麗である。</p>

7	住宅	8	矢立橋	9	日本の道百選の石碑
			<p>葺造り風の黒い壁と白い妻側の壁が印象的な民家である。</p>	<p>百代橋と同じ形状の歩道橋で百代橋の南約200m程にある。</p>	<p>埼玉県の県土を形どった石碑。顕彰プレートは草加市の位置に埋め込まれている。</p>
10	松尾芭蕉像	11	桜並木の遊歩道	12	望楼
			<p>望楼の近くに建つ芭蕉の旅姿の立像。曾良像と対を成すように見える「見返りの像」である。</p>	<p>松並木と札場河岸公園につながる遊歩道。</p>	<p>昔火事の見張りのために立てられ高さ11.1mの木造塔を再現している。内部は正五角形の木肌が美しい螺旋階段となり、展望台からの眺望が素晴らしい景色である。</p>
13	店舗	14	札場河岸	15	草加六丁目橋
			<p>街道沿いにある草加せんべいの老舗の1軒。</p>	<p>綾瀬川舟運の河岸場で野口甚左衛門の所有で、屋号が「札場」であった。川辺の船着場に降りる苔むした9段の石段に歴史を感じる。</p>	<p>欄干には松の木、葉及び煎餅焼きの仕事風景がモチーフされている伝右川に架かる橋梁。橋梁の親柱、欄干、時計塔が統一されたデザインで景観を演出している</p>

<p>16 甚左衛門橋</p>	<p>17 正岡子規の碑</p>	<p>18 -1 甚左衛門堰</p>
		
<p>レンガ積みの欄干で造られているが、金属の手すりの錆び具合にも風情を感じさせるものがある。</p>	<p>草加の名が詠み込まれている子規の句碑。「梅を見て野を見て行きぬ草加まで」とある。</p>	<p>レンガで出来たメガネ形の出水口が印象的で樹木に囲まれている。</p>
<p>18 -2 甚左衛門堰</p>	<p>19 おせん公園</p>	<p>20 河合曾良像</p>
		
<p>明治27(1894)年にレンガ造りの二連アーチ型として再築された水門。平成11年に埼玉県指定文化財になる。</p>	<p>草加せんべい発祥の地碑を中心としてポケットパーク化された空間。</p>	<p>芭蕉の弟子の曾良像。この像の100m程北の街道沿いには芭蕉の像があり師弟が対になっているように感じさせる。</p>
<p>21 地蔵</p>	<p>22 神明宮</p>	<p>23 住宅</p>
		
<p>街道沿いに祀られているお地蔵様。</p>	<p>木造の立派な鳥居と青みがかった銅葺きの屋根が美しい神社。</p>	<p>軒下の白い漆喰壁と小窓、正面左側窓の木の格子が印象的な民家。</p>

24	店舗	25	店舗	26 -1	東福寺山門
					
<p>草加煎餅の老舗、十字路口にあり、真っ黒な壁と赤壁に屋号が印象的である。</p>		<p>屋根瓦を使って建物全体のファサードを装飾している印象的な煎餅店。</p>		<p>通りからの長い参道の奥にある大きな寺、鐘楼と本堂の欄間の彫刻がすばらしく、草加市指定文化財である。大川図書(おおかわずしょ)が創建し墓所がある。</p>	
26 -2	東福寺鐘楼	27	店舗	28	店舗
					
<p>鐘楼は四脚で重厚であり龍の彫刻が美しく、山門とともに草加市指定文化財である。</p>		<p>正面の黒い壁と2階ベランダの植栽が目を引く草加せんべいの老舗。</p>		<p>ファサードは改修されているが、奥行き長い敷地の奥には蔵がある。</p>	
29	あじさい公園	30	おせん茶屋公園	31	氷川神社
					
<p>白い砂利敷きのポケットパーク的な公園で隣地は寺院である。</p>		<p>お茶屋を模した休憩所。公園内は舗装されておらず、街道沿いのポケットパークとなっている。</p>		<p>路地の奥にポツンと祀られている木の鳥居の小さな神社。</p>	

<p>32 草加小学校西校舎</p>	<p>33 駅前一番通り</p>	<p>34 公開空地(本陣跡地)</p>
		
<p>草加小学校西校舎。この校舎は1926(大正15)年9月に県下最初の鉄筋コンクリート造として竣工した。設計は地元の建築家の大川勇氏。平成20年に国の登録有形文化財となった。</p>	<p>路面がレンガでカラー舗装された綺麗な道路。草加小学校西校舎前。</p>	<p>マンションの周囲にはセットバックした公開空地を確保し、インターロッキング舗装や植栽で景観を演出している。草加宿本陣跡地であるがその面影は残っていない。</p>
<p>35 道路元標</p>	<p>36 路地</p>	<p>37 路地</p>
		
<p>道端にある2.5m程の高さの石柱。辻に路標、歴史の重みを感じる街道である。</p>	<p>町中の表通りからの細い路地、両側のブロック塀、住居の植木の枝垂れ具合に雰囲気がある。</p>	<p>幅1mほどの細い路地であるが、生垣であることで歩きやすい空間となっている。</p>
<p>38 明治天皇行在所跡地</p>	<p>39 -1 店舗</p>	<p>39 -2 店舗</p>
		
<p>石碑。隣に木があり守られている感じ。</p>	<p>1階の木製建具のガラス戸、2階窓の木の格子そして敷地周囲の白と黒い塀が印象的である。かつては味噌屋。</p>	<p>街道の拡幅によって建替えられた部分。大きな商家は往時からの繁栄を今に伝えている。</p>

40 -1 八幡神社	40 -2 八幡神社	41 道標
		
<p>通りに面して小さな鳥居が印象的であり、ひっそりと祀られている神社。</p>	<p>宝物の雌雄一對の獅子頭は草加市指定文化財である。</p>	<p>マロニエ通りの道標。</p>
42 葛西道・石碑	43 神社	44 店舗
		
<p>路傍にポツンとある葛西道と日光街道の分岐を示す石の道標。</p>	<p>駐車場の中に現れる小さな稲荷神社。綺麗に管理されていて、赤い鳥居と小さな社が目を引く。</p>	<p>ファサードが看板になっている店舗。</p>
45 住宅	46 三峰神社	47 店舗
		
<p>銅板で屋根が葺かれた民家。</p>	<p>ステンレスの鳥居で小さな社の神社。境内には太さ70~80cm程の銀杏の大木がありシンボルとなっている。</p>	<p>古い造りの商家を思わせる建物であるが、ファサードは改修され、看板建築的な趣がある。通りに妻側が面しているのが印象的である。</p>

	<p>49 回向院</p> 	<p>50 石塀と住宅</p> 
	<p>草加山観音寺と称する浄土宗の寺院、通りの奥にこじんまり佇む本堂がある。本堂には、阿弥陀三尊、善導大師、法然上人が祀られている。</p>	<p>2階建ての黒い外壁、格子戸そして白い石塀が印象的。石組みの塀と母屋の外観が草加宿の歴史を感じさせる。</p>
<p>51 地藏堂</p> 	<p>52 住宅</p> 	<p>53 -1 草加宿入口</p> 
<p>市役所敷地内の道路沿いの一角にある銅葺き屋根の小さなお堂。存在感があり江戸文化を感じさせ、良い景観を形成している。</p>	<p>木製板壁と木製建具のガラス戸がレトロ感を醸し出している。</p>	<p>「今様の草加宿」の道標。木造りで高さが3m程もある。</p>
<p>53 -2 草加宿入口</p> 		
<p>草加宿道標の傍らには「これより草加宿」の石柱がある。</p>		